

さくらんぼ	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを進んで自分からしようとする。 ・気の合う友だちや保育士と一緒に同じ遊びを楽しむ。 	<p>行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・お別れ会 ・卒園を祝う会 	<p>家庭連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進級に向けて不安や戸惑いがないように話を聞き、安心して新しい生活が迎えられるようにする。 ・身のまわりのことを自分でしようとしているので、家庭でもその気持ちを認め、見守ってもらえるように伝える。 	自己評価	
今月の内容（養護・教育等）		環境構成		配慮事項	取り組みの状況と保育士の振り返り
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の体調に留意し、健康に過ごせるようにする。 ・朝、夕の気温差があるので、気温や活動に応じて衣服の調節を行う。 ・暖かくなってくるので、身体を動かして遊べるように戸外遊びや散歩を多く取り入れていく。 ・好きな遊びを見つけて、ゆったりと遊べるようにしていく。 ・様々な遊びを提案していく。 ・「今日のメニューはなんだろう」とメニューを紹介し、期待を膨らませていく。 ・楽しい雰囲気の中でスプーンやフォークを使って自ら食べようとする。 ・食べられた時にはたくさんほめ、自信にしていく。 ・トイレに行くときはオムツを持っていくという習慣にしていく。 ・トイレに興味をもち、便器に座ってみようとする。 ・着脱は、やろうとする姿を認め、できないところを手伝いできた満足感を得られるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・室内外の温度差や湿度に留意し、こまめに換気を行いながら、暖房や加湿器を利用する。 ・原っぱなど園外に散歩に出かけるときは、周りに危険なものがないか遊び始める前に確認し安全な環境にする。 ・好きな遊びをゆったりと遊べる空間や玩具の量を確保する。 ・いろいろな遊びがあることを提案していき、一緒に楽しむ。 ・毎日メニューを紹介することでわくわくしたりして、楽しい雰囲気になるようにしていく。 ・上手にスプーンを使っている子を褒めてスプーンを使うことを意識させる。手で食べる子には傍につき一口分すくったものを置いて自分で口に運びやすいようにする。 ・無理なくトイレに誘う。子どもが便器に座る時は必ず保育士が側につき、時間があるときにはゆったりと見守っていく。 ・着替えをするときに腰掛け台を利用して着替えやすい環境を整える。着替えをする場所で落ち着いてできるように見守っていく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの体調を把握し、必要に応じて検温していく。感染症予防の為玩具の衛生には特に配慮する。 ・好きな遊びが同じで取り合いにならないように空間を決める。 ・野菜等が出てくる絵本等を通して、食材に興味を持って楽しく給食の時間を過ごせる成感を味わえるようにする。 ・褒めたり手を添えたりしながらスプーンの使い方を丁寧に教える ・他児とのトラブルも増えてくるので、関わりを大切にしつつ細やかに子どもの動きに目を配る。 ・個々の排尿間隔を把握する。 ・安心してトイレでできるように言葉をかけていく。 ・午睡明けはトイレに座るのを嫌がる子がいるので、無理なく誘い、嫌がる時はおやつを食べた後に行こうねと次に繋げる ・子どもに発見や驚きに気付き共感し一緒に楽しむ。 ・自分でしようとする気持ちを受け止め意欲的に取りくめるよう援助する 	